

# 平成30年度予算見積調書

課室名：交通政策課

担当名：鉄道担当

内線：2227

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B38	駅ホームの転落防止対策推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	県内既設鉄道整備促進費	
事業期間	平成25年度～	根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		宣言項目	04	地域をつなぐ社会基盤の整備		
					分野施策	041041	便利で安全な公共交通網の充実		
1 事業の概要 駅ホームからの転落事故等を防止するため、ハード施策として、一部の駅にホームドアの設置経費を補助するとともに、利用者の多い駅等について、内方線付き点状ブロックの整備経費を補助する。ソフト施策として、声かけ・サポートハンドブックを作成し、関係団体や介助に興味がある方に対して広く配布を行う。 (1) ホームドア設置促進事業 206,438千円 (2) 点状ブロック整備促進事業 30,175千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ホームドア設置促進事業 206,438千円 (ア) 1日の利用者数が10万人以上駅でのホームドアの整備に対して補助を行う。(5駅分) (イ) 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会競技会場最寄駅でのホームドアの整備に対して補助を行う。(2駅分) イ 点状ブロック整備促進事業 30,175千円 (ア) 利用者の多い駅(利用者数1万人以上)等での内方線付き点状ブロックの整備に対して補助を行う。(9駅分) (イ) 声かけ・サポートハンドブックの印刷・配布を行う。 (ロ) 駅ホーム声かけサポート講習会を開催する。 (2) 事業計画 ア ホームドア設置促進事業 平成25～29年度 モデル事業として、ホームドア整備に対する補助を実施する。 平成29年度～ 1日の利用者数が10万人以上の駅等でのホームドア整備に対する補助を実施する。 平成29～32年度 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会競技会場最寄駅でのホームドア整備に対する補助を実施する。 イ 点状ブロック整備促進事業 平成25～32年度 内方線付き点状ブロックの整備費の補助を行う。 平成29年度～ 声かけ・サポートハンドブックの配布を行う。 駅ホーム声かけサポート講習会を開催する。 (3) 事業効果 ア ホームドア設置を促進する。 イ 視覚障害者の転落事故が減少する。					
2 事業主体及び負担区分 (1) 国1/3(県1/6)市1/6・事業者1/3 (2) 国1/3(県1/6)市町村1/6・事業者1/3									
3 地方財政措置の状況 国庫補助対象事業の地方負担額に特別交付税措置あり									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.9人=18,050千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	236,613							236,613	60,963
前年額	175,650							175,650	